

基礎化学にもとづいて、創造性の高い物質とエネルギーの化学を展開でき、問題発見、課題設定、問題解決を自立的に行える世界をリードする研究者を育成

物質エネルギー化学の中心課題を学ぶ(コア科目、Major科目):

エネルギー変換反応論
物質環境化学
無機固体化学
電気化学特論
機能性界面化学
有機触媒化学
励起物質化学
資源変換化学
有機錯体化学
固体触媒設計学
物質変換化学
構造有機化学
放射化学特論
錯体触媒設計学
機能性核酸化学
先端有機化学
有機金属化学 など

最先端の研究を学ぶ:
物質エネルギー化学特論
1~8 など

コースワーク

学位研究の課題に合わせて履修

修士課程で履修

博士
3年次
[D3]

博士
2年次
[D2]

博士
1年次
[D1]

博士課程入試

修士
2年次
[M2]

修士
1年次
[M1]

修士課程入試

博士論文

博士論文公聴会

博士研究の関連分野に関する幅広い知識の修得とプレゼンテーション能力の醸成:
物質エネルギー化学特別セミナー2,3

自立的な問題発見、課題設定、問題解決能力の醸成

修士論文

修士論文発表会

修士の研究テーマに関する発表、討論:
物質エネルギー化学特別セミナーA

緊密な対話と討論を通じた研究指導

学位研究

学部レベルの学問分野: 物質とエネルギーの化学を研究するにあたって必要な科目

化学系科目(物理化学、有機化学、無機化学、分析化学等)、その他の自然科学系科目